

産業廃棄物処理計画書

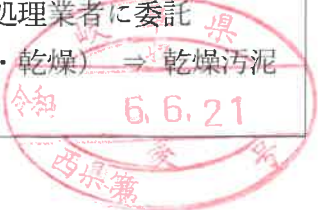
2024年 6月 20日

都道府県知事
(市長) 岐阜県知事殿

提出者
住 所 岐阜県大垣市上石津町牧田3600-1
氏 名 天野エンザイム(株) 養老工場
工場長 富成 剛
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0584-47-2711

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

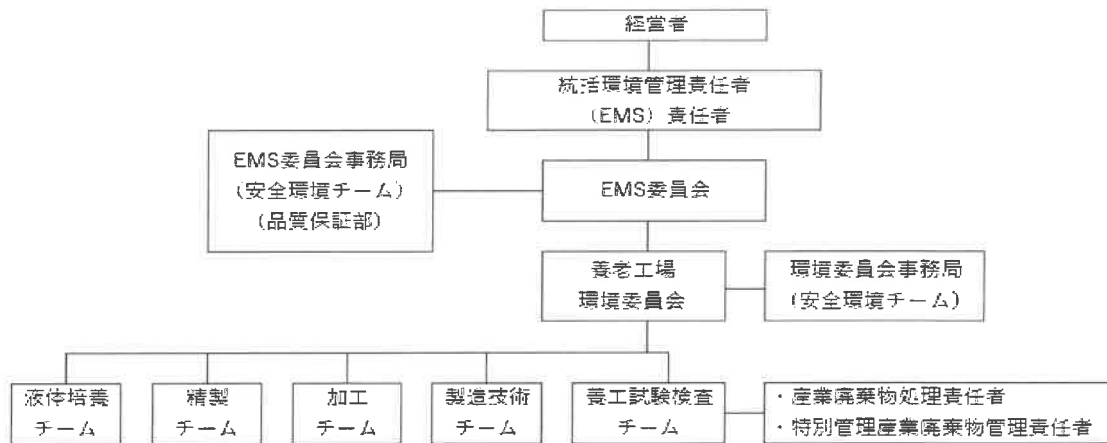
事業場の名称	天野エンザイム株式会社 養老工場
事業場の所在地	岐阜県大垣市上石津町牧田3600番地の1
計画期間	2024年4月1日 から 2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	1651 医薬品原薬製造業、化学工業
②事業の規模	9,988百万円
③従業員数	84人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>● 医薬用酵素・食品用酵素製造工程 〔原料溶解〕⇒原料殺菌⇒培養⇒遠心分離又はろ過⇒濃縮⇒ 〔塩析〕⇒〔ろ過〕⇒アルコール沈降⇒遠心分離⇒乾燥⇒ ⇒中間製品</p> <p>● 廃水処理工程 廃水⇒曝気槽⇒〔沈殿槽〕⇒凝集反応槽⇒〔凝集沈殿槽〕⇒ ⇒放流</p> <p>● 産業廃棄物発生と中間処理及び委託の内容 〔原料溶解〕⇒廃プラスチック⇒産業廃棄物処理業者に委託 〔塩析〕⇒廃酸(硫酸廃液)⇒産業廃棄物処理業者に委託 〔ろ過〕⇒污泥(珪藻土)⇒産業廃棄物処理業者に委託 〔沈殿槽・凝集沈殿槽〕⇒中間処理(脱水・乾燥)⇒乾燥污泥 ⇒産業廃棄物処理業者に委託</p>



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	汚泥（珪藻土）	汚泥（脱水前汚泥）	廃酸（硫酸廃液）
	排出量	1289 t	14065 t	145 t
	（これまでに実施した取組） <ul style="list-style-type: none"> ・培養後のろ過をなるべく遠心分離機で行い、珪藻土の排出量を抑えている。 ・汚泥の一部をセメント原料として再利用することができている。 			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	汚泥（珪藻土）	汚泥（脱水前汚泥）	廃酸（硫酸廃液）
	排出量	1276 t	13924 t	144 t
	（今後実施する予定の取組） <ul style="list-style-type: none"> ・汚泥を堆肥の水分調整剤や農業用肥料として再利用できる産廃業者に処理を依頼する。 ・継続的にセメント原料への再利用を進める。 			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） <ul style="list-style-type: none"> ・珪藻土汚泥、脱水汚泥、乾燥汚泥、硫酸廃液の分別管理ができている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） <ul style="list-style-type: none"> ・現状を維持し、汚泥の管理を徹底する。

(別紙 第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
① 現 状	【前年度（2023年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥（その他）	廃油
	排出量	91 t	10 t	29 t
	（これまでに実施した取組み） ・ 廃プラスチックのポリ容器、ポリ袋等を再資源化・燃料化して排出量を抑えた。			
② 計 画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥（その他）	廃油
	排出量	90 t	10 t	29 t
	（今後実施する予定の取組み） ・ 現状を維持する。			
産業廃棄物の分別に関する事項				
① 現 状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組み） ・ ビニールのついた原料袋からビニールを剥がして分別を行っている。			
③ 計 画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組み） ・ 現状を維持する。			

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	汚泥（珪藻土）	汚泥 （脱水、乾燥汚泥）	廃酸（硫酸廃液）
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	汚泥（珪藻土）	汚泥 （脱水、乾燥汚泥）	廃酸（硫酸廃液）
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定は無い。			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	汚泥（珪藻土）	汚泥（脱水前汚泥）	廃酸（硫酸廃液）
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	14065 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・廃水処理場から排出される汚泥を脱水後、乾燥を行い、減量化に努めている。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	汚泥（珪藻土）	汚泥（脱水前汚泥）	廃酸（硫酸廃液）
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	13934 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・汚泥乾燥機の稼働率を上げ、減量化を更に図る。 ・乾燥汚泥の含水率が低くなるような汚泥乾燥機の運転条件を検討する。 ・凝集剤を適切に使用し、余分な汚泥が発生しないように努める。			

(別紙 第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥（その他）	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組み） ・特に実施していない。			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥（その他）	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組み） ・実施予定は無い。			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥（その他）	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組み） ・特に実施していない。			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥（その他）	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組み） ・実施予定は無い。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現 状	【前年度（2023年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	汚泥（珪藻土）	汚泥（脱水、乾燥汚泥）	廃酸（硫安廃液）
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行 った産業廃棄物の 量	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組み） ・特に実施していない。			
② 計 画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	汚泥（珪藻土）	汚泥（乾燥汚泥）	廃酸（硫安廃液）
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行 った産業廃棄物の 量	0 t	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組み） ・実施予定は無い。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現 状	【前年度（2023年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	汚泥（珪藻土）	汚泥 （脱水、乾燥汚泥）	廃酸（硫安廃液）
	全処理委託量	1289 t	377 t	145 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	1289 t	377 t	145 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組み） ・汚泥（珪藻土）、汚泥（脱水汚泥、乾燥汚泥）、廃酸（硫安廃液）等は土壌改良材、肥料、セメント原料等に再生できる産業廃棄物処理業者を選定し、処理を委託している（産業廃棄物として委託）。			

(別紙 第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現 状	【前年度（2023年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥（その他）	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組み） ・実施していない。			
② 計 画	【今年度（2024年度）目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥（その他）	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組み） ・実施予定はない。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現 状	【前年度（2023年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥（その他）	廃油
	全処理委託量	91 t	10 t	29 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	91 t	10 t	29 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組み） ・廃プラスチックは燃料として再資源化できる産業廃棄物処理業者に処理を委託している （産業廃棄物として委託）。			

① 計 画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	汚泥（珪藻土）	汚泥 （脱水乾燥後汚泥）	廃酸（硫酸廃液）
	全 処 理 委 託 量	1276 t	373 t	144 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1276 t	373 t	144 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組み） ・処理の委託は再生利用業者を基本に、優良認定処理業者への処理委託も検討する。 ・産業廃棄物処理委託業者については、定期的に現地確認を実施する。			
※事務処理欄				

(別紙 第5面)

② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥（その他）	廃油
	全 処 理 委 託 量	90 t	10 t	29 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	90 t	10 t	29 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組み) (第5面) に同じ。			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。